

**PRICE DISPLAY BOARD**

Patent Number: JP11030961  
Publication date: 1999-02-02  
Inventor(s): SASE MICHIO  
Applicant(s):: DAIKASHIYA:KK  
Requested Patent: ☐ JP11030961  
Application Number: JP19970186481 19970711  
Priority Number(s):  
IPC Classification: G09F9/00 ; G09F7/04  
EC Classification:  
Equivalents:

---

**Abstract**

---

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To inexpensively produce a price display board which allows the simple change of figures and eliminates the possibility of the mispositioning and erasing of the figures.  
**SOLUTION:** This price display board is constituted by disposing a magnet sheet between a board body 1 and a display board bored with at least one digit of segment fitting holes 6 capable of fitting plural segments 5 building digital characters. The required figures are built by attracting the segments 5 to the magnet sheet via the segment fitting holes 6. The attachment and detachment of the segments 5 are executed by attracting the segments 5 by the magnet of a pen for attachment and detachment fixed with the magnet having the magnetic force stronger than the magnetic force of the magnet sheet at its one end.

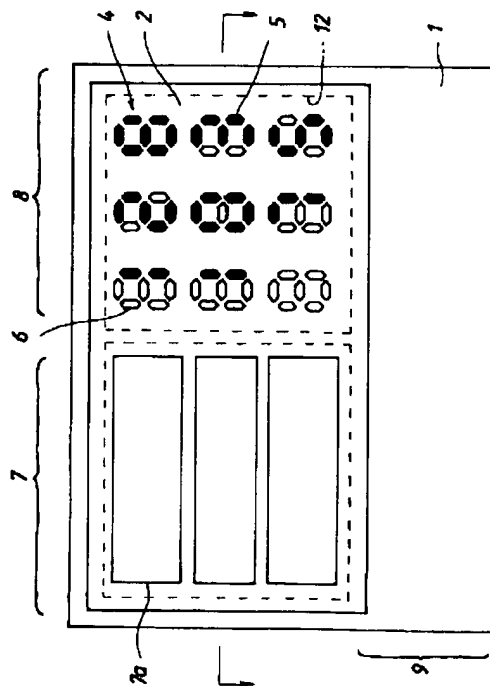
---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(11)特許出願公開番号

(43)公開日 平成11年(1999)2月2日

3 5 0 Z  
A



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 表示ボード本体と、セグメントにてデジタル文字を構築する少なくとも1桁のセグメント嵌合穴を備えた表示ボードとの間にマグネットシートを配し、前記セグメントの嵌合穴を介してセグメントをマグネットシートに吸着させることにより所要のデジタル文字を表示することを特徴とする価額表示ボード。

【請求項2】 前記セグメント及び複数のセグメント嵌合穴を互換性を有する形状に形成したことを特徴とする請求項1記載の価額表示ボード。

【請求項3】 前記セグメントの一方の面を表示ボードの地色と同色にし、他方の面を地色と異なる色に塗装することを特徴とする請求項1記載の価額表示ボード。

【請求項4】 前記セグメントの着脱には、柱状体の先端にマグネットシートに比べて磁力の強い磁石を嵌着した着脱用ペンの磁力にて吸着することにより行うことを特徴とする請求項1記載の価額表示ボード。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、絶えず変化する商品の価額等を表示する価額表示ボードに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、商品価額等の絶えず変化する数字を表示する場合は、黒板にチョーク、又はホワイトボードに消字可能なマジックインク等にて書く方法、又はボードの面に数字に形成した板を機械的に掛止するか、あるいは貼着する等の方法、又は電動回転により数字板を繰り出すデジタル表示、または電光掲示などが一般的に採用されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前記従来の、チョークやマジックインクにて書く方法は、デザイン的に体裁が悪くまた消字される恐れもある。数字板を取り付ける方法は1桁毎に0～9の数字板を用意しておくが必要があると同時に、取り付け位置がずれて体裁を損なったり、紛失したりする恐れがある。数字板を電動回転させる方法あるいは電光掲示板等は高価であるという問題がある。

【0004】よって本発明は前記問題点に鑑みてなされたものであり、数字の変更が簡単であるとともに、数字の位置ずれや消字の恐れがなく、しかも安価に製造する価額表示ボードの提供を目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明の、請求項1は、表示ボード本体と、セグメントにてデジタル文字を構築する少なくとも1桁のセグメント嵌合穴を備えた表示ボードとの間にマグネットシートを配し、前記セグメントの嵌合穴を介してセグメントをマグネットシートに吸着させることにより所要のデジタル文字を表示することを特徴とする。本請求項で

は、セグメント嵌合穴を備えた表示ボードの嵌合穴を介してセグメントをマグネットシートに吸着させる構成としたことにより、嵌合穴にセグメントを嵌合させるだけで簡単に数字を変更することができ、しかもセグメントは表示ボードの嵌合穴に嵌合しているので位置ずれや消字の恐れがない。請求項2は、前記セグメント及び複数のセグメント嵌合穴を互換性を有する形状に形成したことを特徴とする。本請求項では、セグメントの嵌合穴とセグメントとの間に互換性を有することにより、1種類のセグメントにていかなる数字でも自由に構築することが可能となる。請求項3は、前記セグメントの一方の面を表示ボードの地色と同色にし、他方の面を地色と異なる色に塗装することを特徴とする。本請求項では、セグメント嵌合穴に対して、デジタル文字の構築以外の部分に地色のセグメントを嵌合することによりデジタル文字の表示が可能となる。請求項4は、前記セグメントの着脱には、柱状体の先端にマグネットシートに比べて磁力の強い磁石を嵌着した着脱用ペンの磁力にて吸着することにより行うことを特徴とする。本請求項では、着脱用ペンの磁力はマグネットシートに比べて磁力の強いので、マグネットシートに吸着したセグメントを吸着して離脱させることができるとともに、デジタル文字の構築に際しては、新たなセグメントをペン先に吸着して嵌合穴に嵌め、ボードの面に沿って移動させることによりマグネットシート側に吸着させることが可能となる。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。図1から図7は本発明の実施の形態を示し、図1は価額表示ボードの正面図、図2は価額表示ボードの断面図、図3はセグメント嵌合穴を示す表示ボードの正面図、図4はセグメントの斜視図、図5はセグメント着脱用ペンの一部断面図、図6及び図7は価額表示ボードの使用例を示す図である。

【0007】本発明の価額表示ボードは、店頭などに備え、絶えず変動する商品の価額を変更して表示するものである。例えば図1に示すように、ガソリンスタンドにて使用する価額表示ボードの場合は、上欄左側に商品名表示部7を、右側にデジタル文字（価額の数字）表示部8を、下欄に会社名又は店名等の表示部9を設けて、デジタル文字表示部8にて価額を自由に変更して表示する。

【0008】上記価額表示ボードの商品名表示部7及びデジタル文字（価額の数字）表示部8の範囲は、略1mm厚の鋼板から成る表示ボード2であり、デジタル文字表示部8にはデジタル文字4をセグメントにて構築するための複数のセグメント嵌合穴6を貫通させている。

【0009】嵌合穴6は、図3に示すように、1文字内にて0～9までの数字を選択して構築することが可能な配列とし、嵌合穴6相互間には平行なつなぎ6aを形成

している。またデジタル文字4の桁数は必要に応じて増せばよい。なおセグメント嵌合穴6の加工はレーザーカット等により行い、大量生産の場合は打ち抜き加工を採用してもよい。

【0010】一方、セグメント5は、図4に示すように、表示ボード2と同じ厚さの鋼板を用いて長方形にかつその両端を中心対称の尖鋭部13a、13bにレーザーカットにて形成することにより、各セグメント嵌合穴6に対して互換性を付与している。セグメント5の数としては、少なくともセグメント嵌合穴6の全てを埋め尽くす数を用意する。

【0011】価額表示ボードの構成は、厚肉のプラスチック製のボード本体1の面に対して、図1にて点線で示すように、表示ボードの外形と同寸法の枠に形成したプラスチック製のスペーサ12を固定し、デジタル文字表示部8の範囲におけるスペーサ12とボード本体1とにより囲まれた空間部分に対して図2に示すようにマグネットシート10を装填し、マグネットシート10の面及びスペーサ12の面に対して、前記の表示ボード2を重ねて貼着固定した構成となっている。

【0012】このように構成した価額表示ボードは、例えば、全体の地色を黒色とし、商品名表示部7及び会社名等の記入部分の地色を白色にしてその面にカラフルな色を用いて文字を印刷する。一方、表示ボード2に表示文字を構築するセグメント5は一方の面を黒色にし、他方の面を黄色に塗装し、デジタル文字4を構築する際には黄色の面を表にして取り付ける。なお、前記各部分における色の選択は任意である。

【0013】また、セグメント5にてデジタル文字4を構築、あるいは変更をする場合は、図5に示すようにプラスチック製の棒17の一端に、マグネットシート10に比べて強い磁力を有するマグネット16を固定した脱着用ペン15を用いて行う。この脱着用ペン15を用いてデジタル文字4を構築に際しては、マグネット16に磁力にてセグメント5を吸着させるとともにセグメント5をセグメント嵌合穴6に嵌合させた状態を保ちつつ表示ボード2の面に沿ってペン先をずらすことにより、セグメント5をマグネットシート10側に吸着させることができる。またデジタル文字4を変更する場合は、マグネットシート10に吸着したセグメント5をペン先にて吸着して離脱し、セグメント5の表裏を反転して前記と同様な手順にてマグネットシート10側に吸着させる。

【0014】また、価額表示ボードの使用手法としては、図6に示すように、ボード本体の下部を折り曲げた立設形に形成して用いてもよく、また図7に示すように、板状体の上端に紐18を取り付けて壁掛け形にして用いるなど、場所によって種々な形態にし形成して用いることができる。

#### 【0015】

【発明の効果】本発明の価額表示ボードによれば、表示ボードの裏面側にマグネットシートを配し、表示ボードのセグメント嵌合穴を介してセグメントを吸着させる構成であるので、セグメント嵌合穴にセグメントを嵌合させるだけでデジタル文字の構築や変更をすることが可能となる。従って、セグメントは表示ボードの嵌合穴に嵌合しているので位置ずれや消字の恐れがない。また、セグメントはセグメント嵌合穴に対して互換性を有するので1種類のセグメントを用意しておけばよく、従来のように多くの数字形を用意する必要がない。さらにセグメントの表裏面の色を表示ボードの地色と文字表示色とに分けて塗装しているので1枚のセグメントの表裏面を使い分けて文字を表示することが可能である。。デジタル文字の構築や変更の際には、セグメント着脱用ペンを用いることにより、セグメントの着脱を簡単に行うことが可能である。しかも安価に製造することが可能であるので、絶えず変化する数字の表示用として、例えばガソリンスタンド、レストラン等における商品価額の表示や、銀行等における諸指標表示等に簡便に用いることができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態における価額表示ボードの正面図。

【図2】価額表示ボードの断面図。

【図3】セグメント嵌合穴を開口した表示ボードの正面図。

【図4】セグメントの斜視図。

【図5】セグメント着脱用ペンの一部断面図。

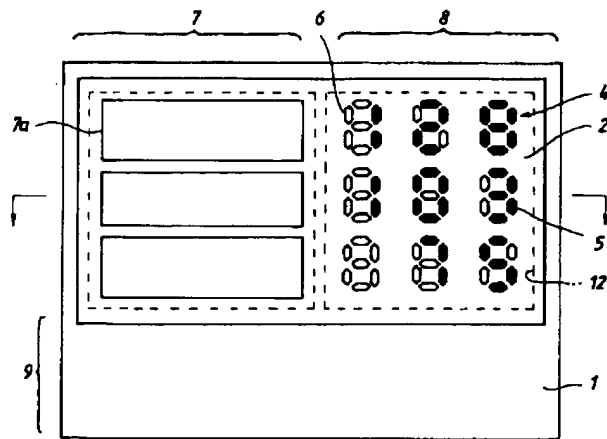
【図6】価額表示ボードの使用例を示す図。

【図7】価額表示ボードの使用例を示す図。

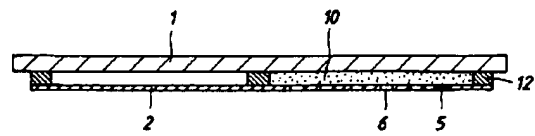
#### 【符号の説明】

- 1 ボード本体
- 2 表示ボード
- 4 デジタル文字
- 5 セグメント
- 6 セグメント嵌合穴
- 7 商品名表示部
- 8 デジタル文字表示部
- 9 会社名または店名表示部
- 10 マグネットシート
- 12 スペーサ
- 13, 14 尖鋭部
- 15 脱着用ペン
- 16 マグネット
- 17 棒
- 18 紐

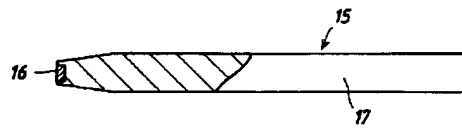
【図1】



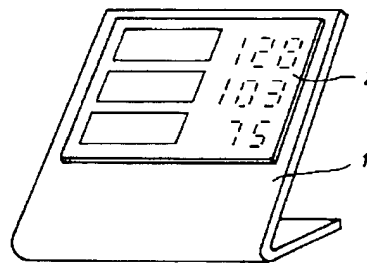
【図2】



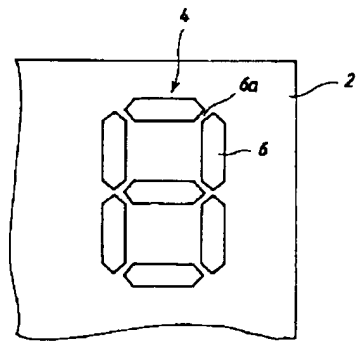
【図5】



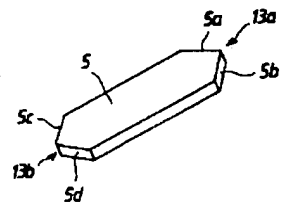
【図6】



【図3】



【図4】



【図7】

